

I 訓練内容・主なカリキュラム・取得可能な資格など

鉄筋コンクリート施工科

1年

型枠大工は建築物の構造体を施工する重要な役割をもつ職種の一つであり、建設現場の複数の同業者や他業種と密接なコミュニケーション・連携を取りながら工事を進めていくことから、技能だけではなく、建築に関わる基礎知識も必要である。本訓練校では、型枠施工技能士として必要な型枠に関する知識・技能として、図面の読み取り、型枠材料の加工、型枠の組立施工、型枠の解体などの教育訓練に加えて、建築に関わる技能者として必要な建築基礎知識を身に付けるために建築製図、測量などの建築基礎学科を1年間の教育訓練カリキュラムとして行う。実技訓練は、専任の指導員の指導の下、基礎的な個人で行う技能訓練から2～3人のチームで行う型枠模型制作実習まで幅広い訓練を行うことにより、複数人で行う作業に必要なコミュニケーションなども身に付けることができる。専任の指導員が各訓練生の性格や癖を把握し、必要に応じて個別指導を行う。約3カ月の学科・実技訓練で基礎的な知識・技能を身に付けた後は、建設現場で実際に実務に従事することができ、身に付けたことをすぐに実践する。現場訓練期間終了後は再度復習を兼ねて学科・実技訓練期間を設け、訓練生の不安や悩みを払拭する。訓練期間の後半には、3級型枠施工技能士の資格取得を目指し、実技訓練を複数回行うことで確実に資格を取得する。また技能習得の最終確認を行い、安全・安心に現場作業に従事することができる。

II 訓練校の声

本校では新卒者を対象に、1年間の教育訓練を実施しています。未経験者でも、働きながら建築に関する知識や技能を身につけることができます。訓練修了後は、社内に建設現場で活躍する幅広い年代の先輩が多数在籍しているため、明確なキャリアプランを描くことができ安心して働けます。

III 受講生の声

未経験なのですごく不安でしたが、専任の指導員がしっかり教えてくれるので安心して学ぶことができます。訓練で作ったものの精度確認やアドバイスを指導員からその場ですぐ聞けることも自分の成長につながるのでもよかったです。

IV 訓練の様子・訓練風景など



↑ 型枠模型組立 個人訓練



↑ 型枠模型組立 共同訓練



↑ 測量機器の使い方指導



↑ 建築図面の作図実習